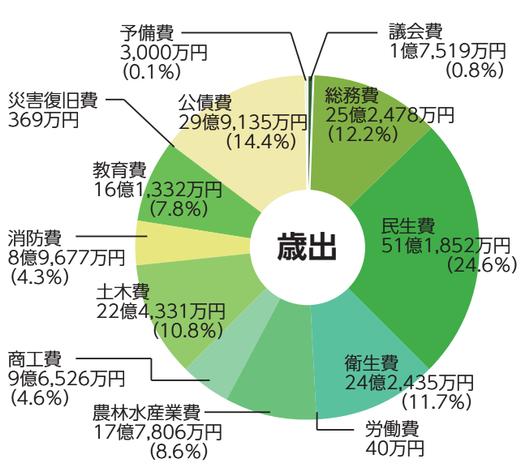
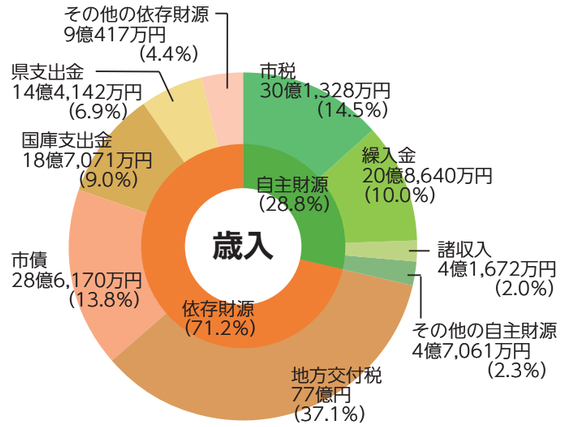
令和元年度一般会計予算

207億6,500万円





※予算額は１万円未満を、割合は小数点以下第２位を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。
また、歳出の労働費と災害復旧費は、割合が0.1％未満となるため、割合の表記を省略しています。

令和元年度一般会計の予算総額は、30年度予算と比較し、12億6800万円(5・8％)減の207億6500万円です。一般会計の歳入・歳出の内訳を上段の円グラフに、会計別の予算額を次ページの上段に示します。

歳入・歳出の概要は次の通りです。

【歳入】

一般会計の歳入で最も多くを占めるのが、地方交付税の77億円(構成比37・1％)です。

自主財源の中で最も多くを占めるのが市税で、市民税個人分の増を見込み、30億1328万円(14・5％)となっています。また、その他の自主財源4億7061万円(2・3％)の中に含まれている寄付金は、ふるさと応援寄付金の増を期待して2億円(1％)を見込んでいます。

【歳出】

歳出は、前年度に比べて大きく増減があった科目について説明します。

衛生費は、清掃センターの焼却施設の延命化工事費の減などにより、10億9676万円(31・1％)減の24億2435万円。商工費は、平成29年度から行っている八幡平温泉郷引湯管の施設整備工事費の減などにより、5億3487万円(34・3％)減の9億6526万円。消防費は、29年度から行っていた防災行政無線の整備工事費の減などにより、4億6741万円(34・3％)減の8億9677万円となっています。

一方、民生費は、30年度から行っている統合保育所の整備工事費の増などにより、1億8160万円(3・7％)増の51億1852万円。農林水産業費は、30年度から行っている繁殖育成センターの整備工事費の増などにより、1億9764万円(12・5％)増の17億7806万円。教育費は、ラグビー場のグラウンド整備工事費の増などにより、3億1128万円(23・9％)増の16億1332万円となっています。

なお、市債は、プライマリーバランスが赤字となる見通しです。実質公債費比率は、29年度決算で12・7％となっており、起債に県知事の許可が必要となる基準(18％)を下回っています。

▼プライマリーバランス＝基礎的財政収支。地方債発行を除く税収などの正味の歳入と公債費(元金償還額分のみ)を除く歳出との収支

▼実質公債費比率＝地方債の償還金を標準財政規模で割ったもので、通常過去3年間の平均値をとります。

市は、今後も財政指標を注視しながら、将来負担が過大にならないよう計画的な財政運営に努めます。

■問い合わせ先 企画財政課財政係(☎・内線1205)

令和元年度新規事業の主な内容

事業名	内容【予算額※１万円未満を四捨五入】
総合収納システム業務	収納事務の合理化と市税などの納入先の多様化(ゆうちょ銀行)への対応【615万円】
庁舎管理費(工事請負費)	西根総合支所外壁改修工事など【7,302万円】
ふるさと創生支援事業費補助金	市まち・ひと・しごと創生総合戦略に主体的に取り組む団体(市民および八幡平市応援市民)が行う地域の課題解決および活性化を図る事業に対し、補助金(上限50万円)を交付【150万円】
プラチナサマーキャンププログラム企画運営業務	将来日本への帰国を考えている在米日本人向けに１カ月程度の滞在プログラムを実施【290万円】
東京オリンピックホストタウン推進事業	東京オリンピック大会のホストタウン覚書を締結したルワンダ共和国の事前合宿。併せて、ルワンダ共和国に関する講演会、児童生徒と選手団との交流事業などの実施【2,557万円】
ウェブサイトリニューアル・運用保守業務	利用者にとって、より情報が見やすく探しやすいウェブサイトへリニューアル【1,034万円】
高齢者先進安全自動車購入費補助金	新車登録日に70歳以上の高齢者の自動ブレーキ等を搭載した自動車(先進安全自動車)の購入費に対して８万円または10万円を補助【180万円】
特定空家等解体業務	木造２階の１戸建住宅で延床面積が140平方㍍を想定【548万円】
コミュニティセンター等管理事業(委託料・工事請負費)	平舘コミュニティセンター整備工事実施設計業務(木造平家建約500平方㍍)、田山コミュニティセンタートイレ改修工事【1,689万円】
介護支援ボランティアポイントモデル事業	柏台小学校区域をモデル地区として、高齢者が地域の在宅高齢者宅や介護保険施設などでボランティア活動を行った際にポイントを付与し、そのポイントを市内共通商品券と交換できるなどの仕組みづくりを構築【40万円】
家庭的保育運営支援補助金	家庭的保育実施事業者に運営費を２年間支援【161万円】
新生児聴覚検査費用助成事業	新生児期における聴覚検査について、１人１回３千円を上限に助成【42万円】
いわて型野菜トップモデル産地創造事業費補助金	▶「野菜販売額１億円産地」モデル拠点整備事業：令和４年度までに同一品目の野菜販売額を１億円以上増加させる計画のものに事業費を補助▶次世代型施設園芸モデル拠点整備事業：令和４年度までに同一品目の野菜の単収を倍増させる計画のものに事業費を補助【1,763万円】
新しい園芸産地づくり支援事業費補助金	水稲から園芸作物に転換し、令和４年度までに新しい園芸産地体制を確立する計画のものに事業費を補助【3,883万円】
盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会負担金	有害駆除実施の際の実働者である有害駆除隊員の継続的な確保【528万円】
林業振興基金積立金	森林環境譲与税の配分開始に伴う森林環境譲与税の積み立て【2,030万円】
大更駅前顔づくり施設等予備設計業務	大更駅前顔づくり施設等の予備設計【3,240万円】
創業者支援補助金	空き店舗などを利用した新規創業者へ助成（１店舗限度額50万円)【100万円】
商工業担い手育成事業補助金	市内商工業者の事業認知度を高めるイベント、従業員定着を図るイベント開催経費へ助成【223万円】
御在所地区温水利用施設等整備詳細設計業務	御在所地区の温水利用施設および駐車場の環境整備【470万円】
岩手県立平舘高等学校教育振興会補助金(※拡充)	進路指導事業(春季休業中に国公立大学進学希望者に対し、予備校講師による特別課外授業を実施)に対する支援(※対前年度比28万円の増額)【455万円】
体育施設維持管理事業(委託料・工事請負費)	ラグビー場グラウンド人工芝舗装工事、ローラースキーコース設計業務、田山射撃場管理棟改修工事【３億5,662万円】

会計別当初予算額 ※１万円未満を四捨五入			上段：令和元年度 下段：平成30年度
一般会計			**207億6,500万円**
			220億3,300万円
特別会計	国民健康保険(事業勘定)		**33億3,966万円**
			30億8,276万円
	後期高齢者医療		**2億8,133万円**
			2億6,882万円
	国民健康保険(診療施設勘定)		**2億2,647万円**
			2億4,000万円
	公共下水道事業		**3億7,171万円**
			9億5,613万円
	農業集落排水事業		**6億2,267万円**
			6億4,473万円
	浄化槽事業		**7,766万円**
			8,004万円
企業会計	水道事業	収益的収入	**5億8,731万円**
			6億1,260万円
		収益的支出	**5億8,230万円**
			6億　459万円
		資本的収入	**3億1,285万円**
			2億5,784万円
		資本的支出	**6億2,264万円**
			4億5,744万円
	西根病院事業	収益的収入	**8億8,981万円**
			8億6,810万円
		収益的支出	**9億　999万円**
			9億　286万円
		資本的収入	**36億1,993万円**
			8億7,628万円
		資本的支出	**38億　278万円**
			10億3,772万円

歳入のおおまかな内容

▶市税＝市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税
▶繰入金＝積立金の取り崩しや、ある会計から別な会計に繰り入れるお金
▶地方交付税＝所得税など国税から財政状況に応じて交付されるお金
▶市債＝建設事業などを行うために市が借りるお金
▶国庫(県)支出金＝特定の行政目的を達成するため、その経費に充てることを条件に国(県)から交付されるお金

歳出のおおまかな内容

▶議会費＝市議会の運営のために使うお金
▶総務費＝行政全般の事務に関する経費、財産管理などに使うお金
▶民生費＝障がいのある人や高齢者の支援、子育て支援や生活保護などに使うお金
▶衛生費＝予防接種、健康診断、ごみ処理などに使うお金
▶労働費＝雇用確保のための作業員賃金や委託費用など
▶農林水産業費＝農業や林業振興などに使うお金
▶商工費＝商工業の振興や観光イベントなどに使うお金
▶土木費＝道路補修や除雪、市営住宅管理などに使うお金
▶消防費＝消防署の経費の負担や消防団員の報酬、防災行政無線の整備などに使うお金
▶教育費＝小・中学生などの教育のために使うお金
▶災害復旧費＝公共土木施設(河川や道路など)が被災した場合、従前の機能を回復するために使うお金
▶公債費＝市債(借入金)を返済するために支払うお金